

科目名	哲学 B Philosophy B	科目コード	10456
-----	----------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	鈴木 覚（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義28，演習0，実験0，その他2】
教科書	配布プリント
補助教材	配布プリント
参考書	授業中に随時指示する。

【A. 科目の概要と関連性】

哲学の基礎的事項や基本文献を取り上げる。哲学的教養を増やし、「哲学すること」の意義を理解する。

○関連する科目：哲学A（前期履修），科学哲学（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①哲学の伝統的な諸問題について理解する	70%	(a1)
②哲学的な文章の読解力を身に付ける	20%	(a1)
③主体的に考える態度を身につける	10%	(a1)

【C. 履修上の注意】

基本的に毎回、確認小テストを行います。「教養を増やしたい」と真面目に考える人のみ履修してください。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（70%）【内訳：中間34，期末36】
- その他の試験（30%）
- レポート（0%）
- その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	行為と価値（1）／哲学的資料に触れる（1）	
2	行為と価値（2）／哲学的資料に触れる（2）	
3	行為と価値（3）／哲学的資料に触れる（3）	
4	行為と価値（4）／哲学的資料に触れる（4）	
5	行為と価値（5）／哲学的資料に触れる（5）	
6	行為と価値（6）／哲学的資料に触れる（6）	
7	中間試験	試験時間：50分
8	試験解説と発展授業	
9	言語と論理（1）／哲学的資料に触れる（7）	
10	言語と論理（2）／哲学的資料に触れる（8）	
11	言語と論理（3）／哲学的資料に触れる（9）	
12	言語と論理（4）／哲学的資料に触れる（10）	
13	日本の哲学・思想（1）／哲学的資料に触れる（11）	
14	日本の哲学・思想（2）／哲学的資料に触れる（12）	
—	学年末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	